

第4章 保健福祉課

保 健 福 祉 課 業 務

専門的なサービスの提供や医療・福祉の援護を行い、保健福祉サービスの向上と円滑な推進に努めました。

1 母子保健

思春期の心身の成長と生涯を通じた女性の健康増進を図るため、思春期保健事業及び生涯を通じた女性の保健相談等事業を実施するとともに、不妊に悩む方への特定治療支援事業の助成を行いました。

また、小児慢性特定疾病児等を対象とした小児医療援護、養育支援事業を実施するとともに、地域における母子保健福祉サービスが円滑に提供されるよう母子保健委員会を開催し、児童虐待予防支援と医療的ケア児の災害時対策の推進を図りました。

2 健康増進・がん対策

がん検診受診率向上のため、管内市町や職域と協働して、地域のニーズや実態に応じた事業を実施しました。また、県全体の未病改善を目指し市町の健康増進事業及び特定健診・特定保健指導の円滑な推進を図るため、保健医療データ活用研修を開催しました。

3 栄養・食生活対策

地域食生活対策推進協議会を開催し、地域における栄養改善活動の推進を図るため、食生活支援体制づくりについて協議しました。

また、健康増進法に基づき特定給食施設に対する個別及び集団指導の実施や、栄養表示等の普及啓発及び活用推進に向け、普及啓発講習会や事業者に対して相談・指導を行いました。

4 歯科保健

「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」に基づき、地域における関連事業の効果的かつ円滑な推進を図るため、歯及び口腔の健康づくり推進委員会を開催し、管内関係機関等と情報を共有しました。併せて、地域の基盤づくりとして、ボランティアの育成支援を行うオーラルフレイル健口推進員（8020運動推進員）養成事業を実施しました。

また、専門的かつ技術的な事業として、重度う蝕児の減少を目的とした事業、障害児者や在宅療養者等を対象にした事業、歯周病予防のための事業を実施しました。

5 地域福祉

地域の福祉的課題に対応するため、民生委員・児童委員への負担金の交付、障害福祉相談員への研修、バリアフリーの街づくり普及啓発事業など、地域福祉の推進に向けた取り組みを行いました。

6 介護保険

介護保険指定事業者等に対する集団指導講習会、実地指導及び介護保険に関する苦情・相談対応等を行いました。

7 生活福祉

葉山町を所管する福祉事務所として、生活保護法・児童福祉法・母子及び父子並びに寡婦福祉法に定められている援護等を行いました。

また、「特別児童扶養手当等の支給に関する法律」に基づき、特別障害者手当等の支給事務を行いました。

8 福祉統計

生活保護の被保護世帯数・人員など生活福祉等に係る統計調査業務を実施しました。

1 母子保健

(1) 思春期保健事業

ア 個別相談

区分	相談方法			相談者(延べ数)			相談内容(延べ数)										事後指導(延べ数)							
	電	面	計	本	父	そ	身	性	妊	結	病	友	家	学	そ	計	助	面	電	訪	他	受	そ	計
	話	接		人	母	他	体		娠	婚	気	人	族	校	他		言	接	話	問	機	診	他	
男	10	0	10	8	1	1	10	2	9	0	0	0	1	0	1	13	7	0	0	0	0	0	3	10
女	9	0	9	2	7	0	9	4	2	0	0	1	0	2	0	9	3	0	0	0	1	2	3	9
計	19	0	19	10	8	1	19	6	11	0	0	1	0	3	0	22	10	0	0	0	1	2	6	19

イ 思春期健康教育

月 日	場 所	対 象	内 容	参加人員
7月8日	県立藤沢養護学校 鎌倉分教室	高校1~3年生 教職員	あなたに知ってほしいカラダとココロ ~未来の自分、大切な人のために~ ココロ編	50
7月14日	県立 七里ガ浜高等学校	高校1年生 教職員	あなたに知ってほしいカラダとココロ ~未来の自分、大切な人のために~	410
12月14日	県立藤沢養護学校 鎌倉分教室	高校1~3年生 教職員	あなたに知って欲しいカラダとココロ ~未来の自分、大切な人のために~ カラダ編	40
2月3日	県立藤沢養護学校 鎌倉分教室	高校2~3年生 教職員	あなたに知って欲しいカラダとココロ ~未来の自分、大切な人のために~ 性感染症編	40
2月21日	鎌倉市立第二中学校	中学3年生 教職員	あなたに知って欲しいカラダとココロ ~未来の自分、大切な人のために~	63
2月27日	鎌倉市立第一中学校	中学3年生 教職員	あなたに知って欲しいカラダとココロ ~未来の自分、大切な人のために~	75
3月2日	鎌倉市立第一中学校	中学2年生 教職員	あなたに知って欲しいカラダとココロ ~未来の自分、大切な人のために~	77

ウ 思春期保健連絡会

2020年、政府により決定された「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」を踏まえ、文部科学省は子ども達が性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう全国の学校において「生命の安全教育」を推進することとしました。「生命の安全教育」に携わっていく中で、教育関係者が、子どもや保護者への関わりに活かしていくことを目的に研修会を開催しました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
12月6日	オンライン開催 (ZOOM)	1 テーマ 教育・行政関係者に知ってほしい、生命の安全教育推進に向けて知っておくべきこと ~子どもを性犯罪の当事者にしないための教育・SNSとの向き合い方~ 講 師 埼玉医科大学 医療人育成支援センター 地域医学推進センター助教 高橋 幸子 氏 2 テーマ 鎌倉保健福祉事務所管内の思春期保健事業について 講 師 当所保健福祉課 保健師・看護師	37

(2) 生涯を通じた女性の保健相談等事業

ア 思春期から更年期に至る女性が心身ともに健康な生活を送ることができるように、一般相談や専門相談を行いました。

区分	相談方法			相談者			相談内容(延べ数)										事後指導(延べ数)									
	電	面	計	本	そ	計	妊	避	不	不	性	メン	婦	更	性	そ	計	助	専	電	訪	他	医	そ	計	
	話	接	他	人	他		娠	妊	妊	症		タル	人	年	感	他		言	門	話	問	機	療	他		
一般相談 (随時)	77	1	0	78	67	11	78	2	2	2	0	3	25	21	12	1	20	88	49	23	1	0	0	1	4	78
専門相談 (12回開設)	0	14	2	16	13	3	16	2	0	2	0	2	12	4	0	0	0	22	14	0	0	0	0	2	0	16

イ 妊娠・不妊に関する正しい知識の普及啓発

月 日	場 所	対 象	内 容	参加人員
6月23日	鎌倉女子大学高等部	高校3年生 教職員	自分のカラダとココロ ～未来のあなたのために～	100
11月5日 ～11月6日	鎌倉女子大学 みどり祭	鎌倉女子大学 学生等	パネルの展示とリーフレット（「あなたに知ってほしいカラダとココロ」～ひとりで悩んでいませんか？～、わたしのからだところの相談）配布など。	113

(3) 不妊に悩む方への特定治療支援事業

不妊治療の経済的負担を軽減するため、医療保険が適用されず、医療費が高額な配偶者間の特定不妊治療（体外受精・顕微授精）に対して、その費用の一部を助成する「不妊に悩む方への特定治療支援事業」について、申請窓口として対象となるご夫婦からの申請を受け付け、関係書類の内容を確認の上、審査・決定を担当する県健康増進課へ送付しました（經由事務）。

市町名	申請件数	計
鎌倉市	141 (129)	187 (170)
逗子市	32 (29)	
葉山町	14 (12)	

()内は申請実人数

(4) 小児医療援護

ア 小児慢性特定疾病医療費助成

児童福祉法に基づき、対象疾病に罹患し厚生労働大臣が定める疾病の基準を満たすと認められた18歳未満の児童（18歳到達時点で認定されており、かつ、その後も引き続き治療が必要と認められる場合には20歳未満まで更新可能）に対し、小児慢性特定疾病医療費助成事務を行いました。

疾病	悪	慢	慢	慢	内	膠	糖	先	血	免	神	慢	染色体または遺伝子に 変化を伴う症候群	皮	骨	脈	計 (人)
	性	性	性	性	分	原	尿	天	液	疫	経	性		膚	系	管	
市町村	新	腎	吸	心	泌	病	病	性	疾	疾	筋	器	疾	疾	疾	疾	
鎌倉市	20	9	4	19	14	8	5	6	4	0	12	12	4	3	1	0	121
逗子市	7	4	0	4	3	1	4	0	0	1	4	5	2	0	0	0	35
葉山町	3	0	0	5	6	0	0	0	1	0	4	2	0	0	0	1	22
計	30	13	4	28	23	9	9	6	5	1	20	19	6	3	1	1	178

イ 療育医療給付

長期療育を必要とする18歳未満の結核児童に対し、指定療育機関に入院させ、適正な医療を行うとともに、併せて学校教育を受けさせ、心身両面にわたる健全な育成を図ることを目的とし、給付を行っています。

令和4年度申請なし

(5) 妊娠期からの児童虐待予防支援事業

妊娠期からの児童虐待予防に向けた支援体制の強化として、市町担当者と事例検討会を行いました。

事例検討会

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
3月1日	葉山町役場	「事例検討会の持ち方」 ～明日からすぐ実践できるように～(概略編)	保健師のためのなごみ 相談室 主宰 塚原 洋子 氏	葉山町役場子ども育 成課・逗子市子育て 支援課・鎌倉三崎児 童相談所・当所保健 福祉課 9

(6) 養育支援事業

疾病等により、長期にわたり療養を必要とする児童に対し、適切な養育を確保し日常生活における健康の保持増進を図るため相談や講演会・交流会を行いました。

ア 訪問指導

	小児慢性疾病	その他	計
実人数	3	2	5
延べ人数	23	6	29

イ 所内指導(電話・面接・文書等)

	小児慢性疾病	その他	計
実人数	35	8	43
延べ人数	304	89	393

ウ 集団指導

(ア) ダウン症児等の親子の会(さくらんぼの会)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
6月14日	鎌倉保健 福祉事務所	いっしょにあそぼう！ ～ダウン症児と親の交流会～	なし	10
10月24日	オンライン 開催 (ZOOM)	ダウン症等の児の全身の発達に合わせた食べる 機能を育む～乳幼児期からの支援～	神奈川歯科大学歯学部 准教授 小松知子氏	18

(イ) 医療的ケア児等の交流会

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
2月20日	逗子市保健 センター	医療的ケアの必要なお子さんと保護者の交流会	なし	8

エ 養育困難事例検討会

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
11月9日	鎌倉保健 福祉事務所	1型糖尿病をもつ児童の支援について	保健師のためのなごみ 相談室 主宰 塚原 洋子 氏	10

(7) 管内市町の母子保健事業に関する評価支援モデル事業

管内市町が実施する母子保健事業が円滑かつ効果的に行われることを目的に、市町の要望に応じた事業分析及び評価についての支援や研修等を行っておりますが、今年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

ア 母子保健事業評価支援研修会

月 日	場 所	内 容	講 師	出席人員
(この欄は空欄です)				

イ 母子保健事業評価支援（対象：鎌倉市）

月 日	場 所	内 容	助 言 者
(この欄は空欄です)			

ウ 母子保健事業情報交換・相互交流会

月 日	場 所	内 容	出席人員
(この欄は空欄です)			

(8) 保健福祉サービス連携調整会議（母子保健委員会・部会）

管内の母子保健事業が円滑かつ効果的に行われることを目的に、母子保健委員会を開催しています。今年度は「妊娠期からの児童虐待予防支援事業」と「医療的ケア児の支援」について、管内での取り組みの推進を図るため部会を開催しました。また、新型コロナウイルス感染症の状況に応じてオンラインを活用しました。

ア 委員会

月 日	内 容	出席人員
3月22日	議題 1 鎌倉保健福祉事務所の母子保健事業について(報告) 2 妊娠期からの児童虐待予防支援事業（養育支援連絡票等）について 3 医療的ケア児の支援について	11

イ 部会

月 日	内 容	出席人員
5月16日	母子保健事業連絡会 1 令和4年度母子保健事業の新規・重点事業について 2 母子保健事業に関する情報交換 3 情報提供	12
7月29日	議題 1 医療的ケアを必要とする子どもの災害時対策について 2 医療的ケア児の支援について情報交換 3 茅ヶ崎市保健所による災害時個別支援計画の紹介と意見交換	11
11月14日	議題 1 講義「多機関による多面的支援とは～過去の事例から考える～」 認定NPO法人チャイルドファーストジャパン理事長 医師 山田 不二子 氏 2 意見交換	19

ウ 管内母子保健事業連絡会

令和4年度は母子保健委員会部会の位置づけで実施しました。

月 日	場 所	内 容	出席人員
(この欄は空欄です)			

2 健康増進・がん対策

(1) がん検診普及啓発セミナー

地域の実情に合わせたがん検診受診率の向上を目指すため、管内市町や民間企業等と協働し、地域のニーズや実情に応じた「がん検診普及啓発セミナー」を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

月 日	内 容	場 所	来場者数

(2) 地域企業におけるがん検診受診促進事業

平成30年度に「神奈川県がん対策推進計画」が策定され、対策型検診として行われている全てのがん種（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がん）における、がん検診受診率を50%以上に向上させることが目標とされています。がん検診受診普及啓発に関する講話やリーフレット配布等にて、地域の企業、事業所等におけるがん検診の受診普及啓発を行うことで、受診率の向上に努めました。

月 日	内 容	場 所	配布部数 又は 事業所数
9月～1月頃	管内市町商工会・商工会議所登録事業所の健康診断対象者へ、がん検診受診普及啓発リーフレットを配布 (うち、逗子市商工会の協力の下、個人への通知文にがん検診受診普及啓発のリーフレットを同封し郵送)	—	1200部 配布
9月6日	神奈川県労働衛生週間横須賀地区大会において、がん検診受診普及啓発のリーフレットを配布	神奈川県労働衛生週間横須賀地区大会	110部 配布
9月6日	同大会において、「早期発見がいのちを救う～がん経験者の願い～」をテーマに、がん体験者の保健師による講演（当日は当事者が別事業のため出席できず当所保健師が代読）を実施	神奈川県労働衛生週間横須賀地区大会	—
通年	管内介護老人保健施設における実施指導にて、がん検診受診普及啓発リーフレットを配布	巡回先老人保健施設	40施設
通年	食品衛生責任者講習会(主催：当所食品衛生課)にてがん検診受診普及啓発リーフレットを配布	鎌倉保健福祉事務所	30部 配布

(3) 健康増進事業等評価

管内市町の実施する健康増進事業・糖尿病重症化予防事業について合同ヒアリングを行い、市町が地域特性を踏まえて円滑かつ効果的に実施できるよう情報提供、情報共有をし、地域の健康課題把握に努めました。

日 時	内 容	場 所	出席者	出席数
7月22日	令和4年度 健康増進事業・糖尿病重症化予防事業の自己評価結果に関する合同ヒアリング	鎌倉保健福祉事務所	鎌倉市市民健康課、鎌倉市保険年金課、逗子市国保健康課、葉山町町民健康課、神奈川県医療保険課、鎌倉保健福祉事務所	12

(4) 保健医療データ活用事業（地区別研修会）

県と市町が連携して保健医療データを活用し、地域特性（食生活の状況、運動などの生活習慣）などの分析を行い地域課題を明確化し、対策について情報共有および意見交換をすることによって市町の健康づくり事業施策の更なる推進を図るため、研修会等を開催しました。

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
12月12日	鎌倉保健福祉事務所	1 鎌倉・三浦地域の後期高齢者の現状について情報提供および意見交換（神奈川県後期高齢者医療広域連合のデータより） 2 糖尿病重症化予防事業の円滑な実施に向けた地域の課題への対策についての情報共有・意見交換	湘南鎌倉医療大学 教授 北岡 英子 氏	17

3 栄養・食生活対策

(1) 特定給食等指導事業（昭和27年度～）

健康増進法及び小規模特定給食施設の栄養改善に関する条例に基づき、給食施設に対し栄養管理について必要な指導、助言を行うとともに、利用者や職員等の健康に関する知識の普及や健康・栄養教育等の支援を行い、給食を通じた地域の健康づくりを推進しました。

ア 給食施設個別指導

対象の施設に対し、個別指導、相談を計161回実施しました。

		管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設		栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいない施設	
		施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数
指 定 施 設 ①	学 校	0	0	0	0	0	0	0	0
	病 院	0	0	1	1	0	0	0	0
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業所	1	1	1	1	0	0	0	0
	寄宿舎	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	2	2	0	0	0	0	
1 回 指 定 施 設 ① を 除 く 又 は 1 日 3 0 食 以 上 又 は 1 日 7 5 0 食 以 上	学 校	16	16	2	2	7	7	1	1
	病 院	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業所	1	1	0	0	0	0	0	0
	寄宿舎	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
計	17	17	2	2	7	7	1	1	
1 回 日 1 0 食 以 上 又 は 1 日 2 5 0 食 以 上 ② を 除 く 又 は 1	学 校	2	2	1	1	1	1	4	4
	病 院	1	1	6	6	0	0	0	0
	介護老人保健施設	1	1	3	3	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	7	7	5	5	0	0	2	2
	児童福祉施設	16	16	1	1	4	4	3	3
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業所	1	1	1	1	1	1	1	1
	寄宿舎	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	2	2	0	0	1	1	2	2
計	30	30	17	17	7	7	12	12	
そ の 他 の 給 食 施 設	学 校	0	0	0	0	0	0	0	0
	病 院	2	2	5	5	0	0	0	0
	介護老人保健施設	1	1	2	2	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	3	3	0	0	1	1	1	1
	児童福祉施設	5	5	4	4	9	9	1	1
	社会福祉施設	2	2	0	0	0	0	4	4
	事業所	1	1	1	1	0	0	7	7
	寄宿舎	0	0	0	0	0	0	1	1
	その他	1	1	0	0	4	4	10	10
計	15	15	12	12	14	14	24	24	

※指導件数は延数

イ 特定給食施設等講習会

対象	月 日	内 容	参加施設数	実施方法
全体	9月9日	演題1 「食中毒予防について」 講師 当所 食品衛生課 食品衛生監視員 演題2 「ナッジを活用した食生活支援」 講師 女子栄養大学栄養学部 准教授	70	集合
種別	7月28日	食育推進研修（地域保健活動推進研修）と同時開催	40	オンライン

ウ 栄養改善普及運動（平成29年度～）

「かながわ健康プラン21（第2次）」における栄養・食生活の目標のうち、食生活の基本である「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加」を推進するため、「主食・主菜・副菜を揃えた食事」をテーマとして、事業所との連携による従業員の健康づくりを目的に健康情報の提供を行いました。

月 日	内 容	参加施設数
9月10日 ～20日	<p><全施設対象の取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所の健康づくり担当者に従業員向けリーフレットを紹介 <p><個別施設への取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員食堂に健康づくりに関するフードモデル等を展示 ・従業員へ普及啓発グッズ（クリアファイル、ボールペン）やリーフレットを配布 	16

(2) 栄養・食生活の企画・運営

ア 地域食生活対策推進協議会（平成元年度～）

地域における栄養・食生活課題の解決に向けた施策の推進のために、栄養・食生活課題抽出に必要な各種調査の実施や、関係機関、団体、職域等と連携して地域のよりよい食環境整備のための事業の企画・立案・評価等の機能を担う「地域食生活対策推進協議会」を開催しました。

令和3年度から、高齢者の低栄養対策の推進を目的に、地域高齢者の食生活支援体制づくりについて協議するため、協議会、部会を開催しました。

(ア) 協議会

月 日	内 容	委員構成	出席者数
1月25日	<p>テーマ「高齢者の食生活支援体制づくりについて」</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度第1回地域食生活対策推進協議会部会の報告について (2) 低栄養早期把握ツールの作成について (3) 低栄養早期把握ツールの活用について (4) 今後の取組に向けて意見交換・情報共有 	医師会、学識経験者、地域包括関係（栄養ケアステーション栄養士、クリニック栄養士）、高齢者施設栄養士、市町健康主管課長、市町村高齢福祉主管課長	10

(イ) 部会

月 日	内 容	委員構成	出席者数
6月10日	テーマ「高齢者の食生活支援体制づくりについて」 (1) 令和3年地域食生活対策推進協議会の報告について (2) 低栄養早期把握ツールの作成について	学識経験者、地域包括関係 (栄養ケアステーション栄養士、クリニック栄養士)、高齢者施設栄養士、市町健康主管課栄養士	10

イ 国民健康・栄養調査（昭和20年度～）

健康増進法に基づき、国民の健康増進の総合的な推進を図るために必要なデータを収集し、国民の健康状況、栄養摂取状況及び生活習慣の状態を明らかにする。

該当地区	調査内容	実施世帯
鎌倉市常盤	・身体状況調査 ・栄養摂取状況調査 ・生活習慣調査	19世帯19人
逗子市逗子		10世帯21人

(3) 地域・医療・福祉・介護領域と連携した栄養・食生活支援体制づくり

地域の社会資源を活用しつつ栄養・食生活改善活動を包括的に推進するために、医療・福祉・介護関連施設等と連携し、地域の関係機関や団体それぞれが実施する食生活・健康増進対策の取組みを支援しました。

ア 市町村に対する企画・技術支援

(ア) 管内行政栄養士連絡会

地域における栄養・食生活対策の効果的な推進を図り、管内市町栄養士同士の業務の情報共有及び相互理解、連携強化を目的に管内行政栄養士連絡会を開催しました。

月 日	内 容
6月17日	・令和4年度事業計画について ・災害時の食生活新体制について
3月7日	・令和4年度事業実績及び令和4年度事業計画について ・令和4年度行政栄養士業務連絡会の計画について

(イ) 企画・業務支援

市町名	内 容	回数
鎌倉市	鎌倉市食育推進会議への出席	2
逗子市	逗子市食育推進懇話会への出席	3
逗子市・葉山町	逗子市・葉山町合同食生活改善推進員養成講座での講義	1

イ 食育推進研修（地域保健活動推進研修）

月 日	内 容	講 師	参加者数
7月28日	講演 「エビデンスに基づく栄養管理・食情報の提供に向けて～ビタミンの欠乏と不足を正しく理解する～」 ※兼 特定給食施設等講習会	大阪公立大学生生活科学部 食栄養学科 教授	4

ウ 各領域と連携した栄養・食生活対策推進事業

地域特性に応じた食環境づくりを推進するため、関係機関・団体と連携してその取組みを支援し、地域における栄養・食生活対策の推進を図りました。

区 分	事業名・ 教室名	内 容	対 象	連携した機関 ・団体等名	集団指導	
					延回数	延人数
学校等と連携した食生活自立支援対策	学校での健康づくり応援事業	掲示 ・バランスの良い食事（主食・主菜・副菜） ・賢いコンビニごはんの選び方	学生・教員	管内大学	1	252
	管内高校と連携した健康教育	講話 ・バランスの良い食事（主食・主菜・副菜） ・栄養成分表示の活用	学生	管内高校	1	93
合 計					2	345

エ 地域や職域等の人材育成

(ア) 食生活改善推進団体の育成

地域の健康づくりの推進役として、食生活改善推進団体の活動が円滑に行われるよう育成指導を行いました。

内 容	回 数	延人数
役員会及び三支部合同スキルアップセミナー	9	61

(イ) 管理栄養士課程の臨地実習

管理栄養士養成施設の学生に対し、公衆衛生分野の臨地実習を行いました。

学 校	学生数	期 間
鎌倉女子大学	3	5月30日～6月3日
鎌倉女子大学	3	6月20日～6月24日
文教大学	4	9月12日～9月16日
関東学院大学	4	1月30日～2月3日
相模女子大学	4	2月20日～2月24日
合 計	18	4校5コース

(4) 専門的栄養指導・食生活支援事業（平成6年度～）

慢性疾患及び難病等や、個別性の高い長期療養者の生活の質を高めることを目指し、対象者及びその家族等に対し、個々に対応した栄養指導や食生活支援を行いました。
また、地域での食生活支援者に対して研修会を開催しました。

ア 個別栄養指導

疾 病 別	実人員	延人員	(再掲) 訪問
糖 尿 病 合 併 症			
脂質異常症・肥満合併症			
腎 臓 疾 患	1	1	
難 病			
精 神 保 健	1	3	
高 齢 者 の 低 栄 養			
ハ イ リ ス ク 児	2	2	
食 物 ア レ ル ギ ー	1	1	
そ の 他	4	4	
計	9	11	

イ 食生活支援担当者等研修会

月 日	対 象	内 容	参加者数
1月31日	管内病院・介護老人保健施設・老人福祉施設の栄養管理担当者（管理栄養士、栄養士等） 有料老人ホームの管理者及び食事提供・栄養管理担当者等 地域栄養士（市町の保健事業等に関わっている栄養士） 管内市町健康主管課栄養士、介護保険所管課職員	講演 「栄養ケア・マネジメントの体制強化に向けた取組みから見えてきたこと～施設の体制づくり 人材育成、多職種と連携した事業の取組みから見えてきたもの～」 講師 介護老人保健施設リハパーク舞岡 栄養課長	28

(5) 栄養表示等普及啓発及び活用推進事業（平成8年度～）

食品表示法に基づく食品表示基準制度、健康増進法に基づく特別用途食品の普及啓発と活用促進及び同法に基づく食品の健保持増進効果に関する虚偽・誇大表示等の禁止に係る普及啓発を図るため、講習会及び個別相談等を実施しました。

ア 普及啓発講習会

対 象	区 分	回 数	参加者数	内 容
	消 費 者	2	130	健康づくり、生活習慣病予防のための 栄養成分表示の活用方法
	そ の 他	7	21	
	合 計	9	151	

イ 事業者に対する表示適正化指導（食品表示法）

区 分		内 容	食品表示法						合 計	
			栄養表示			栄養機能食品		機能性表示食品		
			加工食品	生鮮食品	添加物	加工食品	生鮮食品	加工食品		生鮮食品
事前相談・ 指導	件数	25	-	-	-	-	-	-	25	
	延回数	30	-	-	-	-	-	-	30	
適正化指導	件数	1	-	-	-	-	-	-	1	
	延回数	1	-	-	-	-	-	-	1	
	改善確認	-	-	-	-	-	-	-	-	

ウ 事業者に対する表示適正化指導（健康増進法）

区 分		内 容	健康増進法				合 計	
			特別用途食品		栄養表示基準			虚偽誇大表示
事前相談・ 指導	件数	-	-	-	-	-	1	1
	延回数	-	-	-	-	-	2	2
適正化指導	件数	-	-	-	-	-	1	1
	延回数	-	-	-	-	-	2	2
	改善確認	-	-	-	-	-	-	-

4 歯科保健

(1) 保健福祉サービス連携調整会議（歯及び口腔の健康づくり推進委員会）

神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例に基づき、管内における歯及び口腔の健康づくりに関する事業の効果的かつ円滑な推進を図ることを目的に開催しました。

月日	内 容	出席者数
2月2日	1 管内の歯科保健に関する取組みについて ・神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画の目標値と管内の現状 ・管内の「重点的取組み」の状況 2 情報交換 ・摂食に関する支援について 3 その他 ・次年度以降の展望について（国・県の動向について） ・「フッ化物洗口の基本的考え方」について ・令和5年度 地域保健・健康増進事業報告について	委員 11 事務局 5 （内、オブザーバー 3）

(2) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業

市町の乳幼児教室や歯科健診と連携し、重度むし歯のリスク要因を有する幼児を早期に把握し、継続的な歯科検診、保健指導、フッ化物塗布等を実施しました。

実施回数	受診者数			予 防 処 置 件 数			初診者の把握経路			
	初 診	再 診	計	フッ化物	フッ化 ジア ミン銀	計	1.6歳児	2歳児	その他	計
37	16	63	79	76	5	81	8	7	1	16

(3) 障害児者等歯科保健事業

「歯っぴいスマイル相談」では、心身に障害をもつ乳幼児を対象に歯科検診・摂食嚥下指導等を行いました。その他、障害者施設及び事業所等での歯科保健指導を行いました。

ア 歯っぴいスマイル相談（個別）

市 町 名*	実施回数	受診者数		内 容（延人数）			
		実人数	延人数	口腔内 診査	歯科 保健指導	予防処置	摂食指導
鎌倉市	4	3	4	4	4	3	-
逗子市	12	6	12	11	12	8	3
葉山町	4	1	4	4	4	4	-
計	20	10	20	19	20	15	3

※受診者の居住地

イ その他（集団）

対象	回数	参加者	内容
在宅障害者歯科検診等事業 （主催：鎌倉市歯科医師会）	6	38	歯科保健指導（歯みがき指導）

(4) 歯周病予防対策事業

ア 歯周病検診・指導

成人の歯周病予防対策の一環として、主に妊婦を対象に歯と歯ぐきの検診及び歯周病予防の歯みがき実習を行いました。

区分	回数	検診または指導者数内訳		
		妊婦	その他	総計
個別	14	22	-	22
集団	-	-	-	0
総計	14	22	0	22

イ 歯間部清掃用具の活用推進

歯間部清掃用具の正しい使用方法等についての実技指導を行いました。

実施回数	受講者数
19	70

(5) 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

在宅療養者等のQOL(生活の質)の向上をめざし、訪問による歯科検診、摂食嚥下指導等を行いました。

ア 訪問者数

実人数	延 人 数					計
	6歳以下	7~19歳	20~39歳	40~64歳	65歳以上	
12	21	3	-	-	-	24

イ 市町別疾患別状況(実数)

区 分	慢性疾患児	その他	計
鎌倉市	-	2	2
逗子市	9	-	9
葉山町	1	-	1
計	10	2	12

ウ 内容(延人数)

口腔内診査	保健指導	予防処置	摂食指導	その他
13	24	6	18	-

(6) 歯の健康づくり事業

「健口かながわ5か条」の普及（リーフレットの配布・説明）を行いました。

普及対象	母子	学童・生徒	成人	高齢者	その他	不特定多数	総計
普及人数	16	—	100	7	61	302	486

(7) オーラルフレイル健口推進員（8020運動推進員）養成事業

健口体操（お口の体操）等の普及啓発活動等、歯及び口腔の健康づくりを自主的に実施するボランティア（オーラルフレイル健口推進員）の育成・活動支援を行いました。

ア オーラルフレイル健口推進員数【健康増進課主催の養成研修修了者】

鎌倉市	逗子市	葉山町	管内計
0 (57)	1 (87)	3 (30)	4 (174)

() 内は累計数(平成23～令和4年度)

イ オーラルフレイル健口推進員育成研修

月日	内 容	受講者数
12月16日	1 受講修了証授与 2 基本から学ぼう！健口体操。 ～基本の動きを楽しくマスターしよう～ (1) お口の力と自己チェック (2) お口の健口体操（基礎編） 講師：所内歯科職	推進員 3
2月8日	どう伝える？健口体操 ～活動の場で伝える方法を学ぼう～ (1) お口の健口体操（応用編） (2) お口の力と自己チェック 講師：所内歯科職	推進員 2

ウ 支援体制の整備等

月日	内 容	対象者数
該当なし		

(8) 災害時歯科口腔保健対応策事業

災害時における地域の歯科口腔保健対応する体制づくりの促進を目的に、市町、地域歯科医師会との検討会を実施しました。

月日	内容	出席者
12月8日	令和4年度災害時歯科口腔保健対応策担当者会議 1 情報共有 ・令和4年度ビッグレスキューかながわにおける、逗葉歯科医師会の取組みについて 2 災害時歯科口腔保健対応策の現状（報告） ・災害時歯科保健対応策の進捗状況について 3 意見交換 ・災害拠点病院に期待することについて	委員 4 事務局 6

(9) 歯科健康教育

管内の施設、団体等関係機関からの依頼を受けて、地域住民に対する歯科健康教育、情報提供を行いました。

実施回数	参加者数	内容件数（複数計上）				
		う蝕予防	歯周病予防	口腔機能発達支援	高齢者・療養者口腔ケア	その他
4	132	3	2	2		1

(10) 人材の育成

歯科保健に関する研修・講習会の企画及び講師を務める等で、歯科保健に係る人材への助言・指導等を行いました。

実施回数	受講者数
11	141

受講者内訳数							
歯科医師	歯科衛生士	保健師	栄養士	健康づくり団体	介護保険関係者	その他	市町村職員（再掲）
1	43	11	15	59	-	12	16

(11) その他

- ・歯科疾患実態調査 2地区（口腔内診査13人）
- ・電話相談（歯科関連）6件

5 地域福祉

(1) 民生委員・児童委員の活動

地域における福祉活動の中心的役割を担っている民生委員・児童委員の活動に対して、負担金を交付しました。

区分 市町名	定 数			相談件数	活動日数	訪問回数
	民生委員 児童委員	主任児童 委員	計			
鎌倉市	206	20	226	4,036	28,351	26,255
逗子市	74	6	80	1,565	10,974	16,770
三浦市	83	7	90	1,434	9,270	9,029
葉山町	51	3	54	1,610	5,971	4,175
計	414	36	450	8,645	54,566	56,229

(2) 障害福祉相談員の研修

管内障害福祉相談員の相談対応能力の向上を目的とした研修会を実施しました。

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
2月6日 ～2月17日	動画配信	東日本大震災を体験して ～被災者が感じたこと、思ったこと、 日頃から準備しておくこと～	東日本大震災により被災 を受けた身体障害当事者	6

(3) 地域福祉の人材育成

地域福祉の推進のため、各市町行政職員、市町社会福祉協議会職員等による圏域内地域福祉担当者会議を開催しました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
6月9日	オンライン 開催 (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> ・「神奈川県地域福祉支援計画」の改定について ・各市町、各市町社会福祉協議会の取り組みについて ・災害時における個別避難計画の作成状況について 	16

(4) 成年後見制度普及啓発事業

福祉関係者に対して、成年後見制度の理解を深めるため、事例を通じた研修会の実施や市町成年後見制度担当者・社会福祉協議会担当者等による意見交換会を実施しておりますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
—			

(5) バリアフリーの街づくり普及啓発事業

ア 普及啓発

葉山福祉まつり、みうら市民まつりに参加し、「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」の普及啓発を行っておりますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
—			

イ バリアフリー教室の開催

バリアフリーに係る普及啓発を行いました。

月 日	対 象	内 容	参加人員
12月12日	鎌倉女子大学 短期大学部学生	①演題「当事者目線から捉える感覚過敏について」 ②介助犬・聴導犬について（講演と実演）	160名

(6) 横須賀・三浦障害保健福祉圏域自立支援協議会の支援

横須賀・三浦障害保健福祉圏域における相談支援等のネットワークの形成を通じて、重層的な相談支援体制を構築し、広域的かつ専門的な支援を行うことにより、障害者の福祉の増進を図る事業として県が委託している社会福祉法人「湘南の風」の活動を支援しております。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

会 議 名	回数
横須賀・三浦障害保健福祉圏域自立支援協議会	—

(7) 管内市町等への支援

管内市町、社会福祉協議会及び団体が行う福祉事業について、委員会等の委員を受任し、参画しました。

ア 福祉の推進

会議等名称	回数
かまくら成年後見制度連絡会	1
多職種連携会議（逗葉地域）	1
逗子市自立支援協議会 運営会議	1
逗子市自立支援協議会 専門会議（権利擁護部門）	2
逗子市地域包括ケア会議	1
横須賀市障害とくらし支援協議会	2

イ 計画策定・進行管理

会議等名称	回数
逗子市高齢者保健福祉計画懇話会	1
葉山町地域福祉（活動）計画策定委員会	1

6 介護保険

(1) 介護保険指定事業者指導等事業

介護保険制度の円滑な推進を図るために、県高齢福祉課、各保健福祉事務所、足柄上センターと共催で集団指導を行いました。

また、管内に所在する介護保険指定事業者等に対し、実地指導を行いました。

ア 介護保険指定事業者等指導講習会開催状況

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ウェブサイト介護情報サービスかながわへの資料掲載をもって実施しました。

イ 介護保険事業所実地指導件数

	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	計
1 指定訪問介護	14	5	4	1	24
2 指定訪問入浴介護	3	0	0	0	3
3 指定介護予防訪問入浴介護	3	0	0	0	3
4 指定訪問看護	4	0	1	0	5
5 指定介護予防訪問看護	4	0	1	0	5
6 指定訪問リハビリテーション	0	0	0	0	0
7 指定介護予防訪問リハビリテーション	0	0	0	0	0
8 指定居宅療養管理指導	0	0	0	0	0
9 指定介護予防居宅療養管理指導	0	0	0	0	0
10 指定通所介護	7	2	2	1	12
11 指定通所リハビリテーション	0	0	0	0	0
12 指定介護予防通所リハビリテーション	0	0	0	0	0
13 指定短期入所生活介護	2	0	1	0	3
14 指定介護予防短期入所生活介護	2	0	1	0	3
15 指定短期入所療養介護	0	0	0	0	0
16 指定介護予防短期入所療養介護	0	0	0	0	0
17 指定特定施設入居者生活介護	3	0	0	0	3
18 指定介護予防特定施設入居者生活介護	3	0	0	0	3
19 指定福祉用具貸与	5	3	0	0	8
20 指定介護予防福祉用具貸与	5	3	0	0	8
21 指定特定福祉用具販売	5	3	0	0	8
22 指定特定介護予防福祉用具販売	5	3	0	0	8
23 指定介護老人福祉施設	2	0	1	0	3
24 介護老人保健施設	0	0	0	0	0
25 指定介護療養型医療施設	0	0	0	0	0
26 指定介護医療院	0	0	0	0	0
計	67	19	11	2	99

(2) 事業者実地指導担当者連絡会議

月 日	場 所	内 容	出席者
5月19日	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度介護保険事業者等運営指導の方針について 令和4年度介護保険指定事業者等運営指導計画書について 高齢福祉課からの連絡事項について その他連絡事項等について 	鎌倉市介護保険課、逗子市高齢介護課、三浦市高齢介護課、葉山町福祉課、県高齢福祉課、三崎センター保健福祉課、鎌倉保健福祉事務所保健福祉課

7 生活福祉

(1) 生活保護業務

葉山町を所管する福祉事務所として、生活保護法に基づく保護を行い、その最低生活を保障するとともに自立を支援しました。

ア 扶助別被保護世帯数・人員

2023（令和5年）3月分

町名	区分	総数	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	生業扶助	出産扶助	葬祭扶助
									0	5
葉山町	世帯数	118	102	90	3	37	105	0	0	5
	人員	148	130	109	6	39	124	0	0	5

※出産扶助・葬祭扶助については令和4年度中の実績

イ 保護開始・廃止

<理由別開始世帯の状況>

2022（令和4）年度

町名	区分	傷病世帯主	傷病世帯員	扶急世帯	要介護状態	者の働いて死亡	者の働いて離職	失業		収入の減少	老齢による減少	倒産	事業不振	その他の働き減少	年金等の減少	貯金等の減少	仕送りの減少	その他	計
								都定年・自己	解雇等										
葉山町		2	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	11	1	4	22		

<理由別廃止世帯の状況>

2022（令和4）年度

町名	区分	の世帯主傷病癒	の世帯員傷病癒	死	失	増稼	稼働収入の増加	転働	働きの収入	増年金	増仕送	収入の増	左記以外の増	引取	親類等	施設入所	他法負担	医療費の更	世帯構成の更	指導指示違反	逮捕・拘留等	その他	計

ウ 世帯類型別被保護世帯の状況

2023（令和5年）3月分

町名	区分	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他の世帯	計
葉山町		72	2	19	10	15	118

エ 労働力類型別被保護世帯の状況

2023（令和5年）3月分

町名	区分	稼働世帯				世帯員稼働	非稼働世帯	計
		世帯主が働いている世帯						
		常用	日雇	内職	その他			
葉山町		7	0	4	0	4	103	118

オ 医療扶助の状況

2023（令和5年）3月分

（単位：人）

町名	区分	入院			入院外			計
		精神	その他	小計	精神	その他	小計	
葉山町		0	3	3	4	118	122	125

カ 生活保護施設措置状況

2023（令和5年）3月分

町名	区分	救護施設	更生施設	計
葉山町		0	0	0

キ 保護の開始廃止件数の推移

年 度	2018年度 (平成30)	2019年度 (令和元)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)
開 始	12	15	14	23	22
廃 止	14	12	12	16	23

ク 保護世帯数等の推移(各年度3月)

年 度	2018年度 (平成30)	2019年度 (令和元)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)
世帯数	105	108	110	117	118
人 員	133	134	129	140	148
保護率 %	4.19	4.25	4.07	4.50	4.73

ケ 生活保護費の状況

(単位：円)

区分 町名	総 額	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	生業扶助	葬祭扶助	施設事務費	就労自立給付	進学準備給付
葉山町	132,710,051	76,509,619	52,127,853	312,250	145,893	1,872,282	394,848	1,243,850	0	103,456	0

(注) 上記経費は当所において直接支出した扶助費ごとの額です。

(2) 特別障害者手当等の支給状況

特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、在宅の重度障害児者に対し、特別障害者手当等を支給しました。

(単位：人)

区分 町名	特別障害者手当等		
	障害児福祉手当	福祉手当(経過措置分)	特別障害者手当
葉山町	9	—	10

(3) 母子福祉資金等の貸付

母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、母子家庭等の経済的自立の助成、生活意欲の助長、児童の福祉の増進等のため、母子福祉資金、父子福祉資金及び寡婦福祉資金の貸付を行いました。

市町名	区分	事業開始	事業継続	技能習得	就職支度	住宅	転宅	医療介護	生活	修学	就学支度	修業	結婚	計
		鎌倉市	母子	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2	-
	父子	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2
	寡婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	6	3	-	-	9
逗子市	母子	-	-	-	-	-	1	-	1	5	8	-	-	15
	父子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寡婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	-	-	-	-	-	1	-	1	5	8	-	-	15
葉山町	母子	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	父子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寡婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
計	母子	-	-	1	-	-	1	-	1	10	10	-	-	23
	父子	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2
	寡婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	1	-	-	1	-	1	11	11	-	-	25

(4) 母子・父子自立支援員の設置

福祉事務所に母子・父子自立支援員を設置し、母子家庭、父子家庭及び寡婦家庭の自立に必要な福祉資金の貸付をはじめとして、生活全般にわたる相談・援助を行いました。

<相談援助実施状況（相談回数）>

区分	生活一般										計
	住 宅	医療・健康	家庭紛争		就 労	結 婚	養育費	借 金	その他	小 計	
配偶者等の暴力			その他								
市町名											
葉山町	0	0	11	2	46	0	0	2	16	77	

区分	児 童						小 計
	養 育	教 育	非 行	就 職	その他		
市町名							
葉山町	1	0	0	0	0	1	

区分	経 済 的 支 援 ・ 生 活 援 護											小 計
	母子福祉資金		父子福祉資金		寡婦福祉資金		公 年 的 金	児 童 扶 養 手 当	生 保 活 護	税	その他	
	貸付	償還	貸付	償還	貸付	償還						
市町名												
葉山町	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5

区分	そ の 他						小 計
	売 店	た 販	ば こ 売	公 営 住 宅	施 設 利 用	母 子 生 活 支 援 施 設	
市町名							
葉山町	0		0	0	0	0	0

83

<自立支援給付金事業の実施状況（給付件数）>

自立支援教育訓練給付金	高等技能訓練促進費
0	4

(5) 関連する業務

DV防止法（配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律）に基づき、女性相談所、配偶者暴力相談支援センターと連携し、被害者の自立支援のために相談・援助を行いました。

年度	援助内容	面接	電話	一時保護
2018（平成30）年度		1	2	0
2019（令和元）年度		0	1	0
2020（令和2）年度		0	2	0
2021（令和3）年度		2	6	0
2022（令和4）年度		5	9	1

8 福祉統計

（福祉行政報告例）

対象年月	内 容
4月～3月	管内（葉山町）の生活保護法に係る状況、障害福祉手当等の認定状況、助産施設・母子生活支援施設在所者数他